

特集

様々な医療処置にも対応する 有料老人ホーム

最近、健康保険の運用が厳しくなり、一般の病院では入院していても病状が安定期に入ると退院するように言われたり、慢性的な疾病を持つ人の受入れ先となっている療養病床も、満室のところが多くなり、医療処置を必要とする人たちの行き場に困るケースが増えている。自宅での生活が困難な場合は、病院のケースワーカー、担当のケアマネージャー、市区町村の窓口等に相談し、受け入れてくれる施設を探すことになる。今回はこうした場合の選択肢の一つとして、受け入れ可能な医療処置の範囲が広い有料老人ホームを見てみることにした。

有料老人ホームの 医療処置への対応

大半の有料老人ホームでは床ずれのケアなど比較的容易な医療処置であれば受け入れられているが、手間がかかったりリスクを伴う医療処置の場合、ホームにより受け入れの可否が異なってくる。(表1参照)

また、表2に記載した項目に該当するホームは受け入れ可能な医療処置の範囲が広い場合が多い。

逆に、こうした項目の大半が該当しないにも拘わらず、手間のかかる医療処置が必要な人も受け入れるとしているホームは、長期間にわたって対応可能なかどうか慎重に見極める必要がある。また、同じ医療処置でも手間やリスクが異なり受け入れ困難なケースもあるので本人や家

族のみでなく担当医からホームに対して十分説明してもらう必要がある。

介護付きか住宅型か

有料老人ホームは特定施設である介護付き有料老人ホームと住宅型有料老人ホームがある。前者はホームの職員が介護を行い、後者はホームとは別のヘルパーステーションから入居者の依頼に基づき派遣されたヘルパーによって介護が行われる。

介護付き有料老人ホームでは入居者の介護はホームの責任で行われる。要介護者3人に対して最低1人以上の介護職員を置くこと(3対1と標記)を義務付けられているが、重度の介護者が多いホームではこの人員配置は更に手厚くしているところもあり、

【表1】 有料老人ホームの医療処置への対応

入居者を受け入れているホームが多い医療処置
疼痛の緩和、インシュリン注射、吸入、胃ろうのケア、
人工肛門のケア、膀胱留置カテーテルのケア、在宅酸
素療法、創傷・褥創（床ずれ）のケア、排便、浣腸

ホームにより受け入れ可否が分かれる医療処置
インシュリン以外の注射・点滴、腎透析のケア、胃ろ
う以外の経管栄養のケア、吸引

どのホームでも受け入れが難しい医療処置
人工呼吸器の使用、気管切開のケア

【表2】 受入れ可能な医療処置の範囲が広いホームの特徴

中規模以上（入居者70人以上）
介護の人員体制が手厚く、看護師の配置も手厚い
（要介護者2名に対して介護・看護職員1名以上）
宿直や夜勤の看護師がいる
（この条件に該当するホームは約15%程度）
協力医療機関が同一法人または関連法人である
併設または近接した系列・提携診療所がある
看取りに前向きに取り組んでいる

出典：「特定施設における医療サービス等の確保のあり方に関する調査
研究報告書」 野村総合研究所 2008年3月

そのようなホームでは上乗せ
介護費が別途徴収（入居時一
時払いまたは月払い）される
場合が多い。しかし、これら
の費用は予め明示されている

から要介護度があがっても介
護費用の自己負担分（1割）
が数千円増加するだけで、予
期せぬ多額な費用がかかる心
配は少ない。

これに対して住宅型は介護
はホームの責任ではなく、入
居者が個人で介護を依頼す
る形式である。従って、重度
化して長時間介護を依頼すれ

ば介護費用が介護保険でカ
バーできなくなる可能性がある
。ホームでは系列のヘル
パー・ステーションを使用す
ることが多いのでケアプランを
工夫して介護保険の範囲内に
収める努力をしてくれるとこ
ろもある。また、ホームに
よっては介護保険でカバーし
きれない場合の入居者自己負
担の上限を取り決めるところ
もあるようだ。しかし、こう
した工夫にも限度があるか
ら、要介護度が上がれば最終
的に高額な介護費用を自己負
担するか、支払えない場合は
介護の一部をやめなければな
らない危険性もある。医療処
置が必要な入居者は介護の必
要性も高くなる可能性がある
ので住宅型のホームを検討す
る場合はこの点をよく理解し
ておく必要がある。（この点
は要介護者を受け入れる高齢
者専用賃貸住宅にも同じ問題
がある）



どを運営し、関連会社が運営する当ホームを含め、高齢者の一貫したケアを目指している。

当ホームは京浜東北線「鶴見駅」からバスで10分の高台にある。建物は4階建てで、1階は受付、レストラン、ヘアサロン、ホビールーム、厨房、診療所（佐々木病院が運営するクリニック佐々木 医師が居室に往診）。2階と3階が1人用居室44室、4階は二人部屋11室。広い廊下、シックな内装はまるでホテルのようだ。2階から4階にはアクティビティも行える広いリビングスペースがある。



ウェルネスシップ三世 外観

定員66名のうち、入居者は48名、夫婦3組6名（平成20年8月末現在）。予約もいれど個人部屋は満室で、余裕のある二人部屋はショートステイの部屋として利用しているが、いつも予約でうまっているそうだ。

受け入れができない医療処置は、人工呼吸器、気管切開のケア、胃ろう以外の経管栄養など。腎透析は受け入れ可能なケースもある。その他の医療処置は原則として総て受け入れている。夜間は介護職員のみで看護師はいないが、緊急時は母体である佐々木病院が受け入れてくれる。

に搬送する。

現在の入居者は、病院から転居された方が多いが、医療処置を受けている人は10名（胃ろう3名、インシュリン注射3名、腎透析2名、在宅酸素療法2名）で、入居者の2割程度だ。しかし、全員が要支援・要介護者で平均要介護度は²、³平均年齢82歳となっている。

担当者においてレクリエーションを充実



ウェルネスシップ三世 食堂

当ホームの特色の一つは、レクリエーション担当者において、入居者の好みや能力にあったレクリエーションやアクティビティを工夫していることだ。ビンゴ、俳句、写経、書道、音楽セラピー、生け花、カラオケなど様々なクラブ活動が行われており、参加者も多いとのこと。更にお茶会（月2回）、花見ツアー、外食ツアーなども行っている。重度で医療処置が必要な入居者が多くなると病院のような雰囲気になってしまいが、こうした活動を通じて生きがいを持って入居者に生き生きと暮らしてもらおうよう努力しているようだ。

住宅型のメリット、
デメリット

このホームは住宅型なので、入居者の依頼により1階に併設しているヘルパーズ

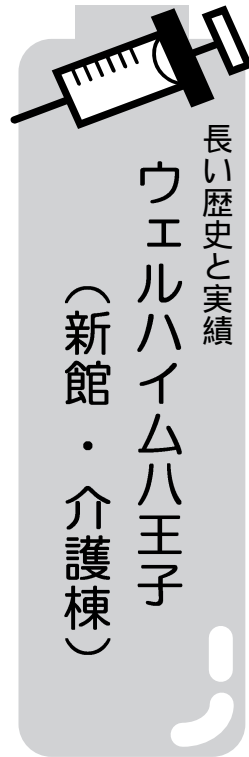
テーションからヘルパーが派遣されて、介護にあたる。要介護度が重度になる可能性のある人が住宅型を検討する場合の注意点は冒頭に述べたとおりである。

一人部屋の居室面積は18㎡と、自立者にはやや狭く、かつ、医療処置を必要とする入居者も受け入れる方針であれば、入居者は今後も必然的に要介護度の高い人が入居するであろう。施設側も入居一時金の償却期間を5年と介護専付有料老人ホームと同水準の期間にしており、入居対象者を要介護度の高い人を中心と考えて企画設計しているものと想定される。住宅型は、自立者や軽度の要介護者にはメリットもあるが、当ホームのような入居者の実態に対し、最適な形式かどうか疑問は残る。

レストランで昼食をとられている入居者の中で、ヘル

パーが1対1で食事介助を行っている方を何人か見かけた。3食とも摂食全介助の場合、他の介護の事も考えらる。介護保険の限度内で介護を行うのは難しいと思われる。しかし、この方々も介護保険の限度内でケアプランを

作って介護を行っており、自己負担の超過は発生していないとのことであった。こうしたホーム側の努力も、重度の要介護者が増加してくると、介護保険の限度内でのやりくりが難しくなるのではないだろうか。



長い歴史と実績

ウエルハイム八王子

(新館・介護棟)



ウエルライフ八王子 外観

京王線またはJR中央線「八王子駅」からバスで10分、多摩川の支流の浅川のほとりにウエルハイム八王子はある。国道16号から少し入った国道側に新館があり、その奥に1階と2階の渡り廊下で繋がった介護棟がある。

このホームの運営会社であるウエルライフ(株)は、昭

和62年のウエルハイム東京(足立区)の開設と同時に設立され、東証1部の医薬品メーカー日本ケミファの100%子会社である。その後、平成2年にウエルハイム八王子の介護棟、平成8年に新館を開設した。昨年、親会社が持株を海外の投資ファンドに80%譲渡したが、日本ケミファの関連会社としてのブランド維持の観点から20%の持株比率を維持している。

新館の1階南側にある玄関を入ると、大きなロビーがあり、奥には受付とコピーラウンジがある。玄関側の左手にはランドピアノも入った談話室があり、南に窓があるためとても明るい。1階にはこのほか大浴場、中浴場がある。2階には新館入居者用の食堂がある。介護棟は1階、2階に食堂がある。このホームはどの階に行っても働いて

いる方が明るく丁寧に挨拶を
して下さり、ホームの職員教
育の徹底がうかがえた。

熱心な訪問医療機関

との提携が鍵

当ホームが様々な医療処置
に対応できるようになったの
は、4年前に訪問診療を行う
伴野内科クリニックと提携し
体制を整えてからである。同
クリニックは週1回ホームの
診察室で診察を行うと共に、



ウェルライフ八王子 リハビリルーム

24時間体制で電話による指示
が可能。以前には、緊急時に
伴野院長が目黒の自宅から車
で急行することもあったとの
こと。夜間に看護師は常駐し
ていないが、オンコールで対
応する体制になっている。
従って、大半のホームが受け
入れできない気管切開後のケ
アや、人工呼吸器の使用者も
対応できる場合もあるとのこ
とであった。

入院は近隣の総合病院であ
る八王子山王病院と提携して
いる。更に伴野内科クリニッ
クのネットワークもあり救急
車が搬送のためホームの前で
何分も立ち往生することはな
いとのことだった。また、認
知症や精神的な病気について
も精神科・心療内科の専門医
が月2回訪問し、診療にあ
たっている。

医療処置が必要な高齢者が
安心して入居できるために

は、こうした訪問医療機関と
の実質的な提携関係にあるこ
とが必須であろう。現在、医
療処置が必要な入居者は胃ろ
う9人、在宅酸素療法8人、
インシュリン注射1人、膀胱
残置カテーテル6人（人数は
重複あり）。

新館の入居者対象者は、入
居時要介護3くらいまでで、
共同生活ができる人。要介護
3以上の人は介護棟への入居
となる。但し、新館から介護棟
への住み替えはなく、最後ま
で自室で介護が受けられる。
看取りも平成16年から行っ
ており、家族の泊まり込みは自
室またはゲストルームで可能
であり、多目的室を遺体安置
室として使用し、ホーム内で
葬儀をやったこともある。

筋力トレーニングの充実

このホームの特色の一つは
筋力トレーニングを充実させ
ていることである。新館1階
の一角にトレーニンググマシ
ーが設置され、トレーナーが
週2回来て指導している。希
望者には、筋力トレーニング
計画書を作成し、1年間の成
果を各自に報告して、やる気
を高めている。アクティビ
ティも盛んで、毎日午前午後
と様々なアクティビティを
行っている。誕生会、外食会
など毎月の恒例行事や温泉旅
行などのイベントもある。

当ホームは新館84室（定員
84名）、介護棟22室（定員34
名）の合計118名と規模は
大きい。しかし、介護棟は建
物の老朽化も目立つ事から大
規模な改修を検討しており、
現在、個室は積極的に募集し
ていない。このため、介護棟
と新館を合わせた入居率は72
%とやや低めとなっている。

（岩井）

掲載施設 概要

		介護付 有料老人ホーム	住宅型 有料老人ホーム	介護付 有料老人ホーム	
		東京都足立区 東保木間2-1-1	神奈川県横浜市鶴見 区上末吉1-1-16	東京都八王子市中野上町1-2-2	
		03-5831-3370	045-580-3230	042-626-0021	
		医療法人社団容生会	三世株式会社	ウェルライフ(株)	
		平成20年5月	平成18年11月	平成8年	平成2年
		つくばエクスプレス「六 町駅」または東武伊勢 崎線「竹ノ塚駅」からそ れぞれバスで10分弱	京浜東北線「鶴見駅」 からバスで10分	京王線またはJR中央線 「八王子駅」からバスで10分	
		60名	66名	84名	34名
		60室	55室	84室	22室
		18.3㎡(57室) 20.13㎡(3室)	18㎡(44室) 35.4~37.78㎡(11室)	22.89~45.78㎡ (最多Aタイプ 22.89㎡56室)	個室 23.37~46.74㎡ (最多 23.37㎡ 15室) 3~4人部屋 46.74㎡
		500万円	507万円(79歳以下)	1750~3500万円 (最多Aタイプ 1750万円)85歳以 上Aタイプ1,000万 円	1600~3200万円 (最多 1600万円) 3~4人部屋 600~1200万円
		20%	147万円(79歳以下)	12%(85歳以上15%)	12%
		60か月の均等償却	残り360万円(79歳以 下)を5年均等償却	10年(85歳以上5 年)	6年
			入居保証金420万円 (79歳以下) 退去時返却なし	入居時に介護一時 金 210万円 (初期償却10% 償却期間5年)	
		70,000円	78,750円	94,500円	94,500円
		63,000円	66,150円	66,150円	66,150円
		51,000~81,000円 (最多価格帯71,000円)	85,000円(一人部屋)	なし	なし
					上乘せ介護費 月払い31,500円
			管理費に含まれる	管理費に含む	実費 (3~4人部屋3,150円)
				2.5:1	ヘルパーステーションか らその都度訪問